

授業科目(ナンバリング)	観光倫理(CA401)			担当教員	陳 慶光・木村 勝彦		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
3年次までの観光学の学びにおいて修得した専門的知識を、社会人としての教養および良識と結び付けながら、観光の視点から現代社会のさまざまな倫理的問題についての理解を深めていく。そうした理解を受講生各自の観光研究と照らし合わせ、主体的に考察する能力を高めていくことが、この講義の到達目標である。							① ③
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	観光倫理およびそれに関連する学問領域の専門的な学術用語を説明することができる。				定期試験	40%	
情報収集、分析力	現代社会における観光のさまざまな事例について情報を収集し、そこから倫理的問題性を指摘することができる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	現代観光の倫理的規範性のあるべきかたちについて、主体的な意見を提示することができる。				・受講態度 ・授業への参加度	10%	
協働・課題解決力	自らの選択した専門コースの問題に関連づけて、観光倫理の具体的な課題の解決に寄与することができる。				定期試験	10%	
多様性理解力	文化の歴史的多様性や社会的多様性を理解し、それぞれの文化によって倫理的価値観に違いがあることを考えることができる。				・定期試験 ・課題レポート	20% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は定期試験 70%、課題レポート 20%、授業態度・授業参加 10%の配分で行う。定期試験は筆記試験により行い、専門用語の的確な説明と倫理的議論の内容に関する理解度を評価基準とする。課題レポートは課題への取り組み方と内容、授業態度・授業参加はレポート提出状況によって評価する。なお、フィードバックは授業の中で適宜行う。							
授業の概要							
この授業では、講義内容をまとめたプリントを毎回配布し、重要な語句や図表、関連する映像資料等をパワーポイントによって提示しながら解説する。また授業の最初には、課題レポートの解答を示し、内容に関する解説を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：山中弘編『宗教とツーリズム』世界思想社 指定図書：長崎国際大学国際観光学科編『観光の地平』学文社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
どのような視点から観光を学ぶにせよ、「観光倫理」は観光研究にとって重要な意味をもっているため、最高学年である受講生諸君には授業への積極的な参加が求められる。また、新聞・雑誌あるいはテレビなどのメディアを通して、国内外の観光をめぐる社会的動向について随時情報を得るように努めることを期待する。その際、この授業の内容に関わる倫理的問題として、特に宗教・文化による価値観の違いや、開発と経済格差の問題などに注目して欲しい。意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語や理由のない遅刻・途中退席は許さない。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	導入 (陳)	観光倫理という学問の意義について述べ、講義全体の概要について説明する。	観光学及び倫理学の学術用語の整理・復習 経営学の予習
2	観光経営と倫理 (陳)	観光倫理の関連分野として、観光に対する経営学的アプローチについて述べる。	経営学についての整理・復習 観光地理学の予習
3	観光地理と倫理 (陳)	観光倫理の関連分野として、観光に対する地理学的アプローチについて述べる。	観光地理学についての整理・復習 「みる」スポーツの予習
4	「みる」スポーツと倫理 (陳)	持続可能な発展目標 (SDGs) の観点から、オリンピック・パラリンピックをめぐる倫理的問題性を検討する。	スポーツツーリズムについての整理・復習 「する」スポーツの予習
5	「する」スポーツと倫理 (陳)	持続可能な発展目標 (SDGs) をキーワードとして、大学スポーツと総合型地域スポーツクラブをめぐる倫理的問題性を検討する	スポーツツーリズムについての整理・復習 オーバーツーリズムの予習
6	観光開発と倫理 (陳)	オーバーツーリズムや観光公害が観光地にもたらす影響を取り上げ、観光開発をめぐる倫理的問題性を検討する。	観光開発についての整理・復習 エコツーリズムの予習
7	エコツーリズムと倫理 (陳)	環境の保全性と持続可能性からクローズアップされているエコツーリズムを取り上げ、倫理的問題性を検討する。	エコツーリズムについての整理・復習 観光まちづくりの予習
8	観光まちづくりと倫理 (陳)	観光とまちづくりに関わる多様なステークホルダーの観点から、まちづくりをめぐる倫理的問題性を検討する。	観光まちづくりについての整理・復習 世界観光倫理憲章の予習
9	世界観光倫理憲章 (木村)	世界観光機関が定めた世界観光倫理憲章について、その基本的理念と成立経緯について、国連の SDGs にも触れながら説明する。	世界観光倫理憲章の理念及び SDGs の整理・復習 観光文化についての予習
10	観光文化と倫理 (木村)	観光が作り出す新たな文化＝観光文化のあり方を検討することにより、観光が文化に及ぼす影響の大きさと倫理的問題性を検討する	観光文化についての整理・復習 アイヌの民族観光の予習
11	アイヌの民族観光と倫理 (木村)	北海道の先住少数民族であるアイヌの歴史と文化がどのように観光資源として消費されてきたかを概観し、その倫理的問題性を検討する。	アイヌの民族観光についての整理・復習 宗教ツーリズムの予習
12	宗教ツーリズムと倫理 (木村)	観光が寺院・神社・教会などの宗教的施設及び聖地を観光資源として消費する事例を取り上げ、信仰と観光の関係をめぐる倫理的問題性について検討する。	宗教ツーリズムについての整理・復習 戦跡観光の予習
13	戦跡観光と倫理 (木村)	沖縄・広島そして長崎などにおける戦跡観光を事例として取り上げ、戦争の記憶と遺跡を観光資源として消費することの倫理的問題性について検討する。	戦跡観光についての整理・復習 ダークツーリズムの予習
14	ダークツーリズムの倫理 (木村)	人の死や災害に関わる場所を対象とする観光の事例を取り上げ、いわゆるダークツーリズム (dark tourism) の倫理的問題性について検討する。	ダークツーリズムについての整理・復習 あるべき観光の予備的検討
15	観光のあるべきかたち (木村)	講義全体の内容を振り返りながら、観光の「あるべきかたち」について展望する。	講義全体の振り返りと。観光のあるべきかたちをめぐる自己認識の省察
16	定期試験	筆記試験	筆記試験の準備